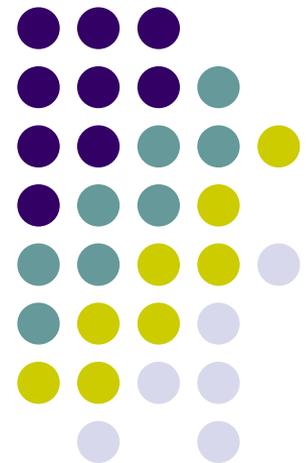


銀行とりひき相談所受付状況 (2024年3月)

2024年4月



一般社団法人 大阪銀行協会

Osaka Bankers Association



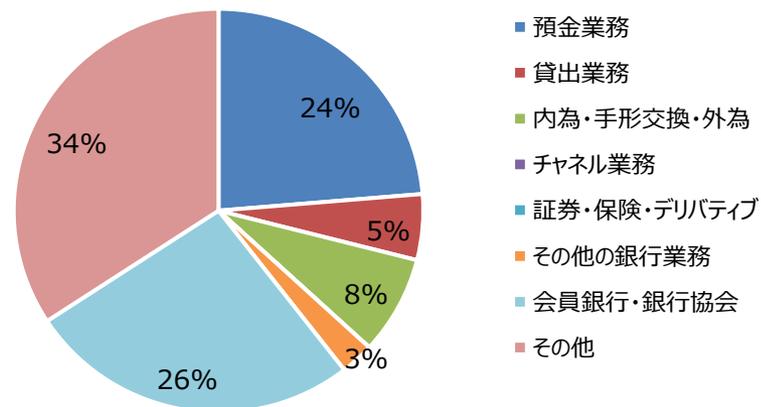
1. 受付件数の状況

- 銀行とりひき相談所における2024年3月の受付件数は38件となり、前月対比で+10件の増加となったが、前年同月比では▲8件の減少と1年9か月連続で前年を下回った。
 - 1営業日当たりでは1.9件となり、10か月連続で2件未満の低い水準となった。
- 受付項目別では、「その他」が13件(構成比34%)と最も多く、次いで「会員銀行・銀行協会」が10件(同26%)、「預金業務」が9件(同24%)となった。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用はみられなかった。

▽ 受付件数の推移



▽ 2024年3月項目別の内訳

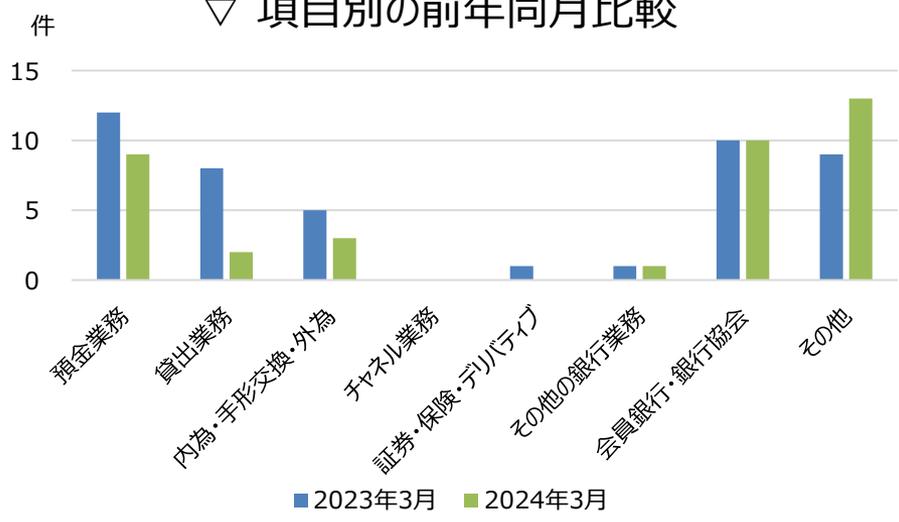




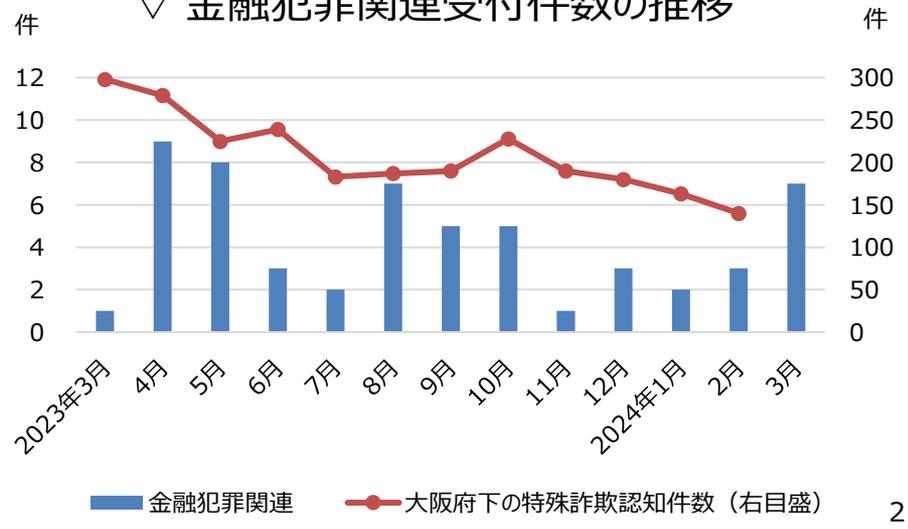
2. 2024年3月の特徴

- 前年同月比の動向を項目別にみると、「貸出業務」（▲6件）、「預金業務」（▲3件）の減少が目立つ。
 - このうち「貸出業務」の減少は、前年同月にみられた消費者ローンや事業資金に関する照会が皆無となったことが主因。こうした中、同項目での当月の受付は、いずれも変動金利型住宅ローンの金利に関する照会であり、金融政策が変更される環境下で、借入金利の動向に関心が高まっていることが窺われる。
 - また、「預金業務」については、前年同月に、欧米での金融システム不安を巡る報道を受け、国内取引銀行の健全性や預金保険制度の内容に関する照会が相次いだ裏が出たことが主因。
- 一方、「その他」は+4件の増加。これは、このところ低い水準で推移していた同項目に内包する「金融犯罪関連」が+6件の増加となったことが主因。

▽ 項目別の前年同月比較



▽ 金融犯罪関連受付件数の推移





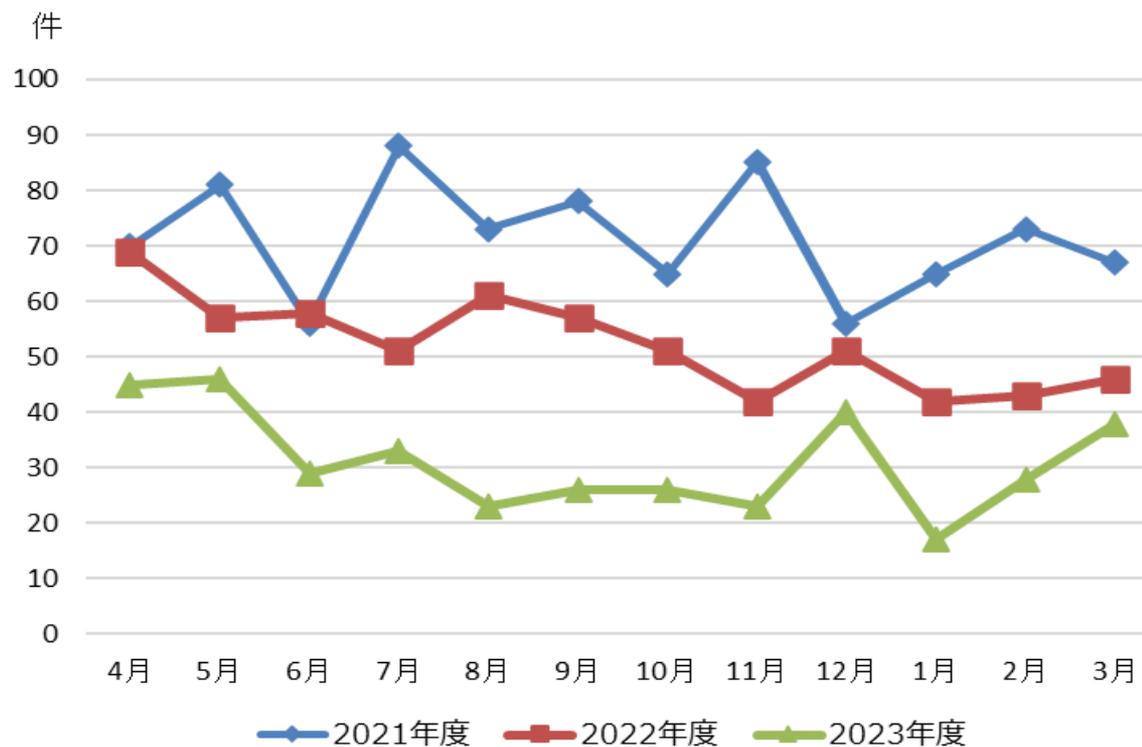
(参考 1) 銀行とりひき相談所受付件数 (2024年3月)

(単位：件)

項目	① 相談・照会			② 苦情		
		前月比	前年同月比		前月比	前年同月比
預金業務	6	0	▲ 6	3	0	3
(内信用不安)	1	0	▲ 5	0	0	0
貸出業務	2	1	▲ 5	0	0	▲ 1
貸出全般	0	0	▲ 1	0	0	0
消費者ローン	0	0	▲ 1	0	0	0
事業資金	0	0	▲ 3	0	0	▲ 1
住宅ローン	2	2	0	0	0	0
アパートローン	0	▲ 1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
内国為替業務	1	1	0	0	0	▲ 1
手形交換	1	0	1	0	0	0
外国為替業務	1	1	▲ 2	0	0	0
チャネル業務	0	▲ 1	0	0	0	0
証券業務	0	0	0	0	0	0
保険業務	0	0	▲ 1	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	1	1	0	0	0	0
会員銀行	3	▲ 1	▲ 5	0	0	0
銀行協会	7	2	5	0	0	0
その他	12	5	3	1	1	1
(内金融犯罪関連)	6	3	5	1	1	1
小計	34	9	▲ 10	4	1	2
合計 (①+②)				38	10	▲ 8



(参考2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。